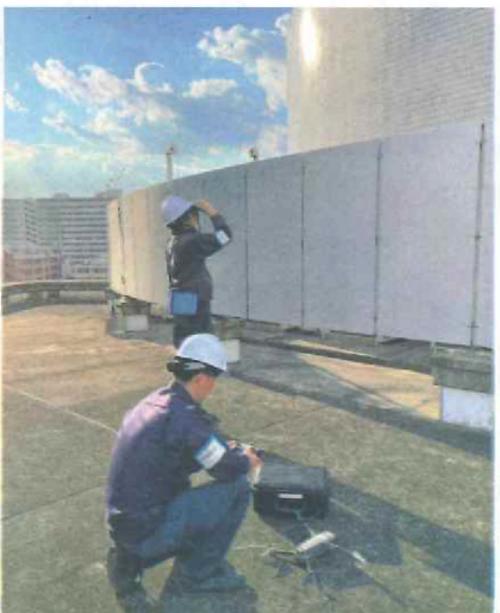


# 全国で建物診断を実地

## 年間400棟の実績

### デイグララン

収益不動産の開発・販売・管理を手がけるデイグララン（大阪市）は、2016年より建物診断（インスペクション）事業「DGIインスペクション」を展開している。管理物件のオーナーに対する提供からスタートし、現在は管理物件以外の全国の建物にも対応する。賃貸マンションや商業施設、ホテルなど、年間400棟ほどの診断実績がある。



▲目視だけでなくドローンも活用して診断を行う

デイグラランの診断員が目視とドローン（小型無人機）による調査を行い、報告書を作成。外壁や外構共用部の診断だけでなく、専有部の給排水管などの状況もチェックする。修繕が必要な箇所を発見した場合は、修繕内容に応じた見積書も作成し、火災保険の申請サポートを行う。デイグラランの中村知孝取締役は「定期的な診断で大きな事故を未然に防ぐことがインスペクションの目的となる。小さな損傷も含めて

現状を知り、早い段階でメンテナンスをしていくことが肝要だ」と建物診断の意義を語る。

大分県を中心に約8000戸を管理する豊後企画集団（大分市）では、管理物件のオーナーに対して、建物の状況を把握してもらうためにDGIインスペクションを活用している。22年に起きた日向灘地震の発生前に調査をし、地震後にも再調査を行った結果、タイルが落ちかけていることを発見して、事故を未然に防ぐことができた。

デイグラランは18年に1級建築士事務所登録を行い、21年には住宅瑕疵（かし）担保責任保険法人の住宅あんしん保証（東京都中央区）とも業務提携をしている。「住宅あんしん保証からは、保険の案内だけでなく、検査業務も受託しており、建物のオーナーが安心してサービスを利用できる体制を整えている」（中村取締役）